

2022年度 現代経営学応用研究(グローバル戦略)

担当：ボストン・コンサルティング・グループ
(植田、長谷川、萩尾)

1. テーマと目標

“変化の激しい時代におけるグローバル戦略構築・実践での課題解決”

- ・ 世界の不確実性が高まる中で、先の時代を見据え、グローバル企業としてどのように戦っていけばよいのか？
- ・ 企業として、こういった大変革の時代だからこそ、何をすべきか？
- ・ 実戦の場で直面する課題は何か？それにどう対処すべきか？

これらの論点を、戦略思考とコンサルティング経験に基づき議論しながら、掘り下げていきたい

2日間の講義を通じて、戦略構築のための視座と実践スキルを磨いていく2日間の講義を通じて、戦略構築のための視座と実践スキルを磨いていく

2. 授業の概要と計画 (担当講師)

- 第1日目： 4月16日(土) 3-6時限 対面授業

(講義内容)

- 第1回 - 変化の激しい時代の経営戦略構築アプローチ (植田)
- 第2回 - パーパスに基づいて企業を経営する (萩尾)
- 第3回 - デジタル・トランスフォーメーション戦略 (長谷川)
- 第4回 - 新しい時代の組織と人材マネジメント・グローバルガバナンスの深耕 (坂部)

- 第2日目： 4月23日(土) 3-6時限 対面授業

(講義内容)

- 第5回 - カーボンニュートラルを基軸とした社会貢献、サステナビリティの追求 (日山)
- 第6回 - 危機下における企業変革 (千田)

(クラス討議)

- 第7回-新ビジネスプラン・コンテストⅠ (植田・日山・千田)
- 第8回-新ビジネスプラン・コンテストⅡ (植田・日山・千田)

- 講義の進め方は、以下の通り。

(1) 講義

実際のコンサルティングの経験・事例からの示唆・学びを中心に基本コンセプトを解説する。

(2) クラス討議 (ケースディスカッション等)

受講者は、あらかじめ提示された課題に対して、授業当日までに準備を行う。当日は、講義の内容も踏まえながら、各論点に対してクラス全体でディスカッションを行い、経営者としての意思決定プロセスを疑似体験する。なお、受講者の積極的参加を前提とした討議形式のため、議論への活発な参加と貢献が期待される。

3. 成績評価と基準

- 事前課題の提出 40%（期限の順守、内容の質）
 - 中長期を見据えた視点での問題意識、論理展開になっているかどうかを評価します
- 議論への貢献 60%（各回授業での発言の量と質、グループワークへの参加姿勢）
 - 授業内・グループワークでの発言・議論参画姿勢を踏まえ、講義内容のポイントを理解しているかどうかを評価します。また、クラスやグループ全体の議論や思考を深めることに貢献をできているかどうか評価します。
- 欠席および課題未提出は、特別な理由がない限り減点の対象とする

4. 履修上の注意

【準備学習・復習】

クラス出席前に指定された事前学習課題を準備した上でクラスに臨んで頂きたい。また、講師／参加者双方向のワークショップ式講義を行うため、議論への活発な参加と貢献が期待される。

【関連科目】

事前に履修が必要な科目は特に無い。

【資料の配布】

教室で対面参加する学生さん向けには、資料は当日印刷して配布する。リモート参加の方向けには資料は投影のみさせて頂く。

なお、一部授業の資料については終了後に回収させて頂く可能性があることをご了承頂きたい。

5. 事前課題

事前課題は講義日の2週間前までに連絡します。講義日までに準備し、当日、課題を提出して下さい。

6. オフィスアワー・連絡先

電子メールにて質問・相談は随時受け付ける。

kobemba@bcg.com